

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0006  
 住 所 川崎市川崎区砂子一丁目8番地1川崎室町ビル  
 氏 名 出光ルブテクノ 株式会社  
 代表取締役社長 上前 伸浩 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	出光ルブテクノ株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区砂子一丁目8番地1 川崎室町ビル		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	潤滑油の貯蔵・製造・出荷		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,745 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

当社は潤滑油原料の基油及び添加剤を受入れ潤滑油製造を行っており、これに係わる設備の設計・建設、生産、購買、入出荷、分析試験サービス等の全ての業務に関し、「環境方針」を以下のとおり定めます。

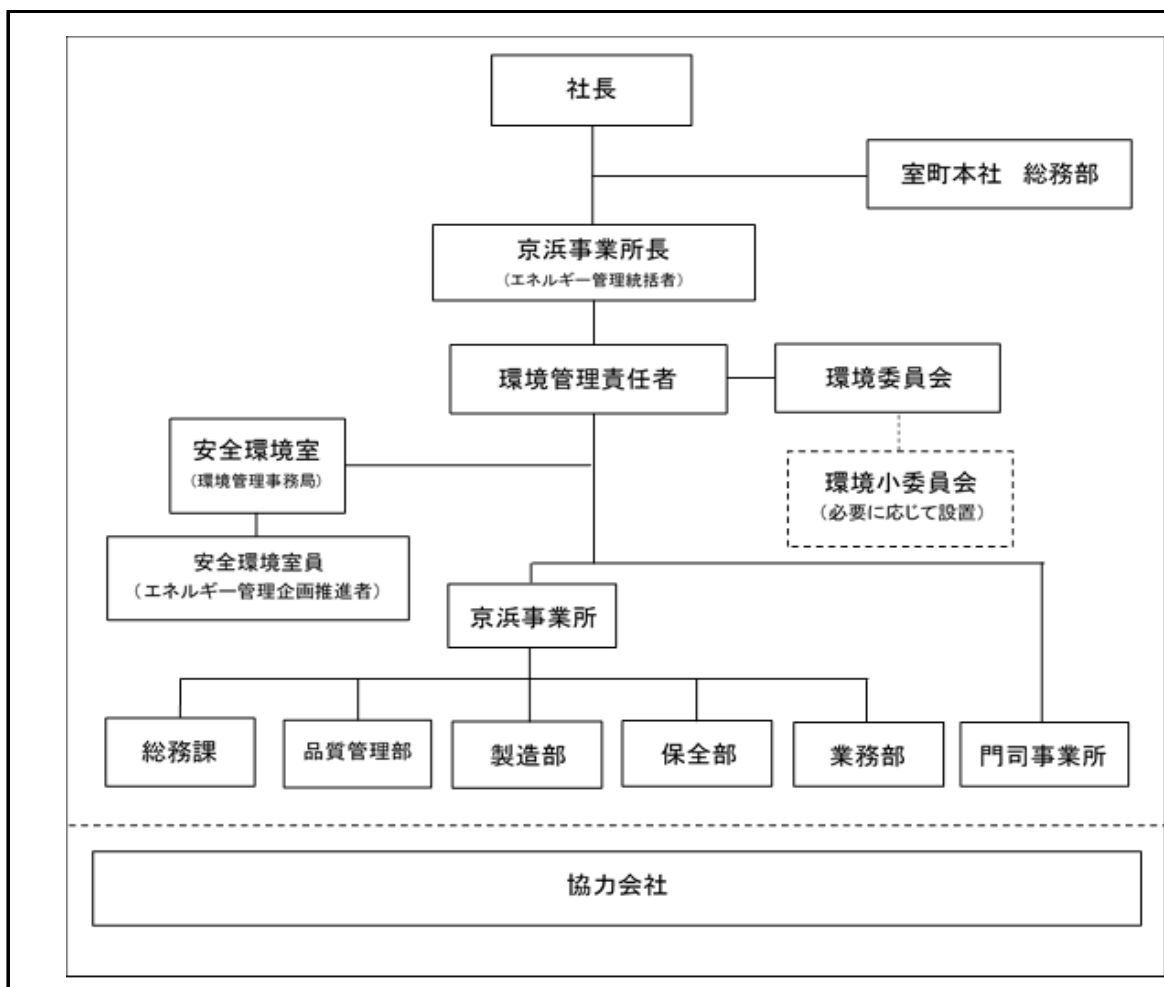
- 『環境にやさしい事業所』を目指し、全ての業務に係わる環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
- 環境コンプライアンス徹底、其他要求事項の順守により汚染の予防及び環境保護に努めます。
- 省資源、省エネルギーを推進し、廃棄物の削減及び資源の有効利用に努めます。
- 環境パフォーマンス向上のため、環境目標を設定してその達成に努めます。
- 環境教育・啓発・訓練を通じて社員一人ひとりの環境意識の向上を図ります。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- ①IS014001に基づき、環境目標と年度計画を策定する。(PLAN)
- ②環境目標、年度計画の進捗管理およびエネルギー使用量実績は毎月開催する安全衛生環境委員会で評価する。(CHECK/ACTION)
- ③年度末に、エネルギー使用量及び目標達成状況から次年度の目標、計画に反映する。

以上の基本方針によりPDC Aサイクルを実行・管理する。(DO)

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 3,464 (調) 2,969 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
目標	排出量	(実) 3,454 (調) 2,976 t-CO <sub>2</sub>	(実) (調) t-CO <sub>2</sub>
削減量		(実) 10 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
内訳	対策実施による削減量	(実) 6 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の削減量	(実) 4 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 0.3 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		製造数量	
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> /千ℓ	
基準年度の値		23.46	
目標年度の値		22.89	
削減率		2.4 %	

ウ 目標設定に関する説明

製造数量の3か年計画は年毎に1%ずつ増産する見込みである。  
 それに伴ってエネルギー消費量の内、ガソリンは30%減、灯油は0.16%増、軽油が7.8%増、LPGが4.8%減、電力量が3.2%減が近年の推移量から予測される数値と判断している。  
 製造数量が増となる事から、原単位改善目標値と定め、おおよそ年1%削減を目指すこととする。  
 内、LED更新工事計画にて2 t /Y程度が対策によって削減できる効果と見込んでいる。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	<p>【基本対策】 02-02-01：【熱媒体の管理】圧力のばらつきを許容しての燃料削減検討 【目標対策】 03-01-10：【空調機の更新】 (2022) 08-01-03：【照明の管理】LED更新計画 (1/1Y)</p>
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<p>01-01-01 【推進体制の整備】 01-02-02 【エネルギー使用量の把握等管理】 02-01-01：【空気比の管理】ばい煙測定及び熱診断実施 (2/1Y) 02-01-03：【燃焼設備の保安全管理】メーカーによるボイラー点検整備 (1/1Y) 02-02-07：【蒸気供給の管理】 02-03-02：【スチームトラップの管理】作動診断 (1/5Y：2022) 02-04-02：【蒸気ドレンの排熱回収の管理】 03-01-05：【空気調和設備の保安全管理】 (2/1Y) 05-01-02：【受電端力率の管理】 05-01-03：【単相負荷の管理】 05-01-05：【受変電設備等の保安全管理】 (1/1Y) 06-01-04：【コンプレッサーの吸気管理】</p>
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	算出した試算結果について親会社と共有を図る。
風力	○	設置スペースの問題で困難と判断。
バイオマス	○	同上
未利用エネルギー	×	未検討だが設備の設置スペースが確保できないため困難。
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	当該計画期間年度中には実施予定は無い。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	所内の省エネルギー活動の共有の場として、安全衛生環境委員会を継続し、各部署の省エネルギー活動の実務担当者の情報共有のために環境小委員会を立ち上げた。 この委員会を通じて、エネルギー削減の施策立案・実行、動向監視を実施している。また、当議事録を社内サイトへ掲示し、社員への意識付け・向上を目指している。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	3,464	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

1,745	KL
-------	----

ウ 事業所の数

2
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
出光興産京浜ルブセンター	川崎市川崎区水江町6番2号	3,411 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>